

慣用句

『あげ足を取る』

意味:言葉じりや、いい間違えをとらえて相手をやりこめる。

ひとこと:柔道や相撲などで、相手の上げた足を取って逆にたおすことからきた言葉。

使い方:彼はすぐ他人のあげ足を取るので、嫌われている。

『あごで使う』

意味:人をいばった態度で使う。

ひとこと:手ではなく、あごだけを動かして、人に指図する偉そうな態度のこと。

使い方:あの先輩はいつもオレをあごで使う。

ことわざ

『馬の耳に念仏』

意味:ありがたい念仏も馬には役に立たないことから、いくら言っても効き目のないと。

ひとこと:似た意味で、『馬の耳に風』というものもある。

使い方:この子はいくら言っても『馬の耳に念仏』で忘れ物がなくなる。

『浅い川も深く渡れ』

意味:浅い川だと思って油断せず、深い川だと思って用心して渡れ

ひとこと:似たことわざで『石橋をたたいて渡る』というのがある。

使い方:得意なテストも『浅い川も深く渡れ』で、十分に準備しよう。